



すぎなみ

教育報

第177号
平成17年6月30日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎3312-2111 FAX 5307-0692
教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

地域に開かれた学校づくりをめざして

地域運営学校がスタートしました！

桃井第四小、三谷小、杉森中、向陽中 の4校で

地域運営学校は、保護者や地域の皆さんが、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、地域に開かれた、特色ある学校、信頼される学校づくりをめざす新たな仕組みです。

杉並区では、平成17年4月から小学校2校（桃井第四小学校、三谷小学校）、中学校2校（杉森中学校、向陽中学校）の4校が、地域運営学校としてスタートしました。

地域に根ざした学校づくりをすすめます

4校では、5月から一斉に学校運営協議会が開かれ、これから何をやっていきたいのか、どんな学校にしたいのかなど、活発な意見交換が行われました。

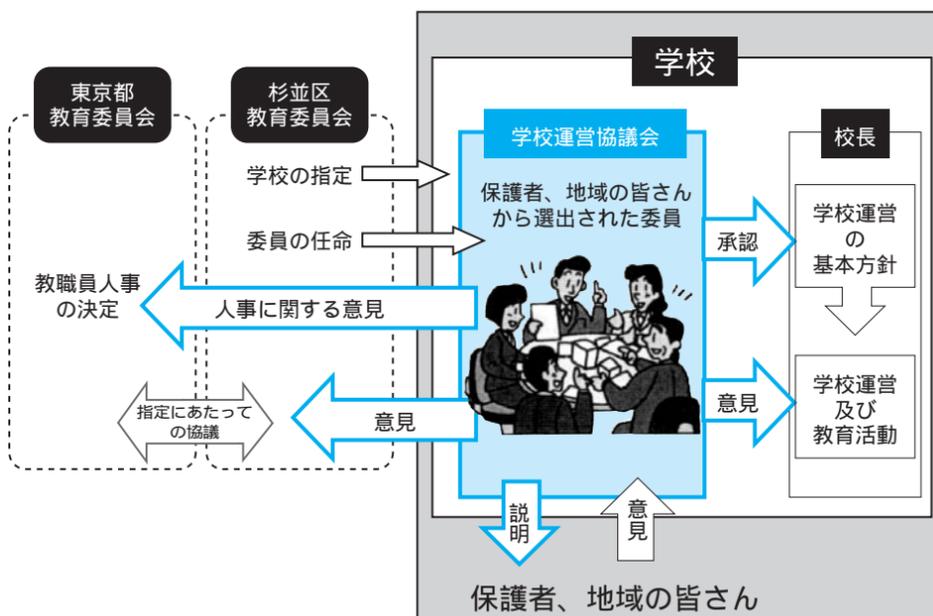
学校運営協議会の委員は、校長、学識経験者、公募委員などから構成されており、PTAや元学校評議員、「おやじの会」やNPO活動でまちづくりに関わっている方など、地域に根ざした学校づくりに意欲をもつ方々が参画しています。

5月16日に第1回協議会が開かれた桃井第四小学校では、「いろいろな意見を率直に出し合い、児童・保護者・教職員・地域の皆さんとともに楽しく魅力ある学校にしていきたい」と小松会長（国立教育政策研究所）より挨拶がありました。

学校運営協議会は原則公開です。開催予定や開催状況については、各学校のホームページや学校だよりなどでお知らせしていきます。

地域運営学校の取組みに、地域の皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

地域運営学校のイメージ



和泉中学校でセカンドスクールを試行

和泉中学校では、今年度の新1年生45名を対象にセカンドスクールを試行として実施しました。今回のセカンドスクールは、昨年杉並区と「まるごと保養地協定」を締結した福島県北塩原村において、4月24日から4泊5日で実施しました。他の学校行事にはない5日間という長期日程の中で、自然体験などの学習とともに、共同生活をする中で子どもたち同士の人間関係を深めることができました。

セカンドスクールとは

子どもたちが日常通っている学校（ファーストスクール）から離れ、普段の学校の授業では実施できない自然体験学習や職業体験などを恵まれた環境のもとで行う第二の学校です。今回のセカンドスクールは、実体験を通じた学習成果を得るとともに、新入学直後に子どもたち同士が共同生活をする中で、早期に深い人間関係を構築し、いじめ防止等の効果を得ることをねらいに、試行として実施しました。教育委員会では、この結果を検証し、今後の中学校教育にいかしていく考えです。

実施内容

今回のセカンドスクールでは、期間中、各教科や特別活動などに関連づけた星座観察や郷土料理づくりなどを行うとともに、地元の裏磐梯中学校との交流、竹細工・蒔絵体験、五色沼のトレッキングなどを行いました。





地域教育力の再生を、地域発の取り組みで - 「地域子ども教室推進事業」について -

学校等を会場とした放課後活動のひとつである「地域子ども教室」が順次立ち上げられています。

「地域子ども教室」は、子どもたちの安全・安心な居場所を地域の大人たちが協力しながらつくる事業です。平成16年度には、「子どもの居場所づくり杉並実行委員会」を中心に、区内15校で文化・スポーツ活動など学校を舞台に子どもたちの豊かな放課後活動を願う地域からの発案による多様な取り組みが繰り広げられています。

教育委員会としても地域からの取り組みを支援しているところですが、何よりも学校・地域・家庭が十分にしくみを理解し連携していくことが大切です。「地域子ども教室」をきっかけに、放課後を中心とした学校内外での取り組みに多くの方々の参画と協働が実現し、地域教育力の再生につながることを期待しています。

【子どもの居場所づくり 杉並実行委員会事務局】
TEL : 03 - 5311 - 6861 FAX : 03 - 5311 - 6862
問い合わせ先：社会教育スポーツ課学校支援係

16年度子どもの居場所づくり活動実績一覧		
名称	開催校	プログラム内容
すぎっ子くらぶ	杉一小	図書室・校庭などで自由遊び
すぎごハッピーくらぶ	杉五小	ミニバスケットボール・サッカーなど
東田チャッピーズ(仮)	東田小	教室・校庭などで自由遊び
ゆうゆうクラブ	大宮小	校庭で自由遊び
たけの子くらぶ	方南小	読み聞かせ・将棋・トランプ・宿題など
放課後そてつ教室	三谷小	学習・遊び
ひだまりルーム	松ノ木小	学習・外遊び・昔遊び・お話会など
和泉っ子クラブ	和泉小	ちよこっと学習(算数補習など)
久我山放課後クラブ	久我山小	読書・調べ学習・自由遊びなど
スペースすぎのもり	杉森中	囲碁・将棋・ダンス・教育相談など
天沼放課後倶楽部	天沼中	図書室で読書と学習
東原中放課後教室	東原中	コンピューター教室
向陽ひまわりクラブ	向陽中	浴衣着付・お茶会など
大宮中放課後学習支援教室	大宮中	学習支援
和田中放課後倶楽部	和田中	菜園手入れ・車解体・壁画作成など

子どもの安全を守ります

全区立小学校に常駐警戒員を配置します

区立小学校43校(杉並第十小学校を除く全校)および済美養護学校に民間警備員を、外周フェンスがない杉並第十小学校には警視庁OBで構成する区安全パトロール隊員を、それぞれ常駐警戒員として配置します。さらに小学校を拠点として午前と午後に学校区域内の幼稚園、保育園にも立ち寄るようにします。

実施予定日 平成17年9月1日から

原則として登校日の午前7時30分から午後4時まで正門付近で来校者のチェック、不審者の発見、校内の安全点検等を行います。



問い合わせ先：学校運営課経理係 危機管理室地域安全担当課

学校安全支援隊も学校の安全を守っています

学校安全支援隊は、学校長の要請により保護者や地域の有志の方々で編成され、現在、5つの小学校で、来校者の受付や学校及び周辺の安全パトロールを行っています。

教育委員会では、学校への不審者侵入防止対策のみならず、地域の方々による児童への声かけや見守り活動を強めていただくために、小学校全校での学校安全支援隊の編成にむけ、助成金制度を設けるなど、活動を支援しております。

保護者や地域の方々のご協力をお願いします。

マイクロソフトから “ Xbox ” 80台が寄贈されました！ 小中学生のテレビ会議などに活用

このたび、マイクロソフト社から、家庭用ゲーム機「Xbox」を利用したテレビ会議システム80セットが、杉並区に寄贈されました。

6月16日には、同システムを開発した杉並区和泉の同社Xbox事業本部の丸山本部長や山田区長が出席し、区役所において贈呈式が行われました。

区長は、「ゲーム機は子どもたちにとって身近な存在。子ども達のコミュニケーション能力を、より効果的に、創造的に高めることができると期待しています」と話しました。



区では、寄贈されたXboxを、全区立小中学校や、科学館、済美教育センターなどの施設に設置し、小中学校の連携授業や、複数の学校による討論、科学館からの実験の中継など、学校間、学校と施設間の教育ネットワーク作りを進めていきます。

問い合わせ先：学校運営課

特別支援教育の実施に向けて 就学支援モデル事業を実施

いま、心身障害教育は、これまでの「特殊教育」に代わる新たな仕組みである「特別支援教育」の実施に向けて、国・都・区がそれぞれの立場から準備を進めています。特別支援教育は、現在の養護学校や心身障害学級に在籍する児童・生徒のほか、通常の学級に在籍する学習障害(LD)等の特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、一人ひとりのニーズに応じた教育的支援を行うものです。

これまで本区においては、特別な支援を必要とする児童・生徒を学校内全体で支援するための「校内体制整備」や、学校周辺の福祉機関等と連携して支援するための「エリアネットワーク整備」を進めてきました。

こうした中で、このたび東京都が実施する「特別支援プロジェクト(就学支援)推進モデル事業」の推進地域に、杉並区が指定されました。このモデル事業では、教育、保健、医療、福祉等の関係機関や専門家がネットワークを構築し、特別な支援を必要とする児童・生徒の乳幼児期から学齢期への支援体制を整備することとしています。

教育委員会では今後、学校と幼稚園のほか、保育園、保健センター、こども発達センターなどとも連携して、都内でのモデルとなる就学支援体制を整備していきます。

問い合わせ先：学務課

0へん知る▶ 幼稚園でも学校評議員制度がスタートしました
保護者や地域の方々为学校運営に参画する学校評議員制度を、小・中・養護学校だけでなく、今年度から新たに幼稚園(全6園)にも導入することになりました。より地域に開かれた幼稚園をめざしていきます。
問い合わせ先：庶務課計画係

詩『子は親の鏡』作者 ドロシー博士が 杉並第四小学校、高円寺北幼稚園を訪問！



世界23カ国で愛読され、日本でも話題の本「子どもが育つ魔法の言葉」や、詩「子は親の鏡」の著者で米国の教育学者ドロシー・ロー・ノルト博士(81)が来日し、5月10日、杉並第四小学校と高円寺北幼稚園を訪れました。

園児の遊ぶ様子や1、2年生の授業を見学後、交流会では、子どもたちのために書き下ろした詩を朗読し、児童から感想と感謝の言葉が送られました。

保護者やPTAとの懇談では、子どもとの接し方など様々な質問が飛び交い、「叱ったり怒鳴ったりしてしまうのですが」という問いかけに「否定的な叱り方をするのではなく、肯定的な言い回しをすることが大事」と助言されていました。

保護者や教員など約180人が参加した講演会では、博士は「自分たちが子どもの手本になります。そのためには最良の自分になることが大事ですが、人である以上、間違いも犯します。親も間違えることがあることを子どもに分からせればよいのです。そして大事なものは、子どもの心の動きに目を配ることです。」とメッセージを送られました。

新たな科学館をめざして 科学館に公募による新館長が 就任しました。

「地域ぐるみで教育立区」をめざす杉並区では、科学館を「科学を育む地域社会づくりの拠点」として再編・改革するため、17年2月、初めて館長の公募を実施しました。「科学の振興に熱意があり区民やNPO、民間事業者など多様な人々と協働し、斬新な新規事業を企画実行できるプロデュース力のある人」という条件で募集したところ、全国から74人の応募がありました。書類選考・一次面接選考の後、当館名誉館長・小柴昌俊博士立会いのもと、二次面接選考が行われ、渡邊昇さんが初の公募館長として選ばれました。今回は、新館長の抱負をご紹介します。

「科学の面白さを一人でも多くの方に」 渡邊昇 新館長抱負

区民の皆さん、科学館館長の渡邊です。みなさんは科学がお好きでしょうか？日ごろ科学の恩恵に浴しながらあまり好きではない方もいらっしゃるよう見受けられます。

当館名誉館長の小柴先生は常日頃「科学はやってみれば面白いものです」とおっしゃっています。私もまったく同感です。新しい科学館は科学の面白さを一人でも多くの方に感じてもらうことを目標にしたいと思います。

まだ就任したばかりですが、一人でも多くの区民の皆さんに見ていただいて、ご意見をいただきながらこれからの科学館を作って行きたいと思っています。



新館長のプロフィール 昭和28年東京都生まれ、民間企業、建築事務所自営の後、私立聖学院中学校で数学教員、日本科学未来館科学技術スペシャリスト、東芝科学館館長付を経て、17年4月、区立科学館館長となる。

教育委員からの発信

今年度の「教育委員からの発信」では、「杉並区のめざす教育」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

カラスの勝手？

「早朝の駅前が汚い」と言うと、少し前なら、「カラスの仕業だ」で片付けられた話です。しかし、散乱しているのは、カップめんや弁当の容器、おむすびのラップ、お茶のボトル、たばこの吸殻などなど。となると、カーカーカラスの仕業ではありません。鳥類を疑うのは気の毒です。人間カラスの仕業なのでから。

規制も必要ですが、根本は人と人との関わり方にあると考えます。生活物資の豊富な、求める物が容易に手に入る便利な社会になり、二十四時間型の生活スタイルが浸透し、人それぞれの生き方が許容される流れのなかで、人々の行動選択の基準(規範意識)がバラバラになってきました。気になるのは、駅前という公共空間に、「宴のあと」を放置して平気な感覚のなかに、「戯歌」「カラスの勝手でしょ!」に似た開き直りを感じる事です。これでは個体としての人格も育たないし、ひいては人と人との豊かに関わりあう社会関係の進展を遮断することになりかねないからです。

私は、教育の核心にあるのは希望や夢だと考えています。教育は、人間の証とも言うべき、より良く生きようという意欲(自分の可能性を伸ばす意欲)をもつことの大切さに気付かせ、自立した大人への歩みを支える、未来志向の文化的な行動です。ドロシー・ロー・ノルト博士が「子は親の鏡」という詩で、幼少期の教えがその後の行動に決定的な意味を持つことを明らかにしたとおりで、基本は大人側にあります。家庭で地域で学校で、心身の発育に応じた地道な実践の積み重ねによって、子どもたちに「カラスの勝手でしょ!」ではない、豊かに感じとる力、しっかり考え抜く力を体得させることが肝要です。特に、基礎的な生活習慣や行動規範が獲得される乳幼児期を重視すべきで、就学前教育のあり方を問い直す時が来ていると考えます。

教育長 納富 善朗



「意見を待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。

ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15

ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> 「教育委員への意見」あて

(場所:「生活ガイド」「子供、教育」「教育委員からの発信」)

冊子「子育て事例集」を発行しました！

主に思春期のお子さんに関わる悩みや情報を取り上げ、身近な事例を中心に編集した冊子です。中学校での評価・高校受験から、携帯電話・性・ドラッグまで、幅広く取り上げています。区立小学校6年生の保護者の皆様には学校を通じ配布しています。残部が若干ありますので、必要な方はお問合せください。 問い合わせ先：社会教育センター ☎3317-6621

「歯の衛生に関する作品」の入賞者・作品が決定しました



「歯の衛生に関する作品募集事業」は、杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会の主催により、毎年、「歯の衛生週間（6月4日～10日）」にあわせて実施されています。今年も区立小・中学校の児童・生徒から昨年を上回る数の力作が寄せられ、6月25日（土）に区立産業商工会館で表彰式が行われました。



区長賞
高井戸東小学校 3年2組
高橋隆一



会長賞
荻窪中学校 2年B組
齋藤あずさ

作文入賞者

- 《金賞》1名
松庵小学校 1年2組 中田大地
- 《銅賞》1名

標語入賞者

- 《金賞》8名
桃井第三小学校 2年1組 川元瑛
杉並第六小学校 4年2組 立久井大輝
永福南小学校 4年1組 藤田玲央名
杉並第七小学校 5年1組 浦田咲
浜田山小学校 5年3組 大野はるか
久我山小学校 6年1組 松田梨佳子
向陽中学校 2年C組 佐藤真唯子
向陽中学校 3年B組 森早希子
- 《銀賞》10名
- 《銅賞》16名

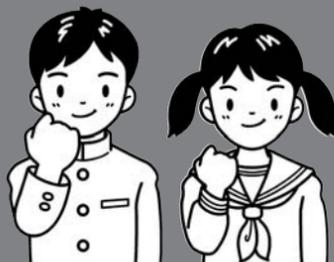
図画入賞者

- 《区長賞》1名
高井戸東小学校 3年2組 高橋隆一
- 《金賞》2名
杉並第一小学校 1年1組 山本未夢
高井戸第二小学校 2年3組 小澤有都菜
- 《銀賞》4名
- 《銅賞》7名

ポスター入賞者

- 《会長賞》1名
荻窪中学校 2年B組 齋藤あずさ
- 《金賞》4名
馬橋小学校 5年1組 高祖結
桃井第三小学校 5年2組 澤田直樹
高井戸第三小学校 5年1組 毛塚ゆかり
泉南中学校 3年B組 石井真仁子
- 《銀賞》5名
- 《銅賞》8名

中学生の職場体験学習が始まりました！



最近、若者のフリーターやニートの増加が大きな社会問題となっていますが、その解決のためには、中学生の時期に適切な勤労観や職業観をはぐくむ「キャリア教育」を推進することが重要です。そこで、今年度本区では、区内の商店や事業所などのご協力をいただき、全区立中学校で、5日間連続の職場体験学習に取り組みます。これまで、各学校では、進路指導の一環として職場見学や職場訪問を実施してきましたが、5日間にわたり、実際の職場を体験することによって、中学生に働くことの厳しさ、喜びを肌で感じさせ、地域の一員としての自覚を高めることもねらっています。他県での連続5日間の職場体験の実践レポートによると「3日目から生徒は変わる！」との声が聞かれています。職場体験をお引き受けいただく事業所や、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。 問い合わせ先：指導室

学校のこともっと地域の方々に知ってもらおう！

公立校で初めて！？の本格的な「学校案内」と「学校紹介ビデオ」づくりに挑戦！

「学校日よりでは和田中の取り組みが十分に伝えられてないね」という声が学校内外から寄せられたのをきっかけに、「本格的な学校案内、学校紹介ビデオを作ろう」ということになりました。作成にあたり、参考となるような公立校の本格的な学校案内を探しましたが、見つかりません。「ないならば、他校のモデルとなるような学校案内を作成しよう！」と今年1月から取りかかりました。

学校案内は、校長のアイデアをもとに、保護者、地域の方に相談しながら和田中学校の特色を20項目にまとめ、それらの特色が学校生活のどの場面で表れているのか、写真でも表現することにしました。PTA広報担当や、デザインの専門家の力も借りてまとめました。

一方、学校紹介ビデオは、これまで撮りためてきたビデオをもとに、授業、部活動、放課後の活動、土曜日寺子屋「ドテラ」など、活きた生徒の様子を編集しました。

多くの方々の協力を得て作成した和田中学校の学校案内は、今後地域の方々にも配布していきます。また学校紹介ビデオについては上映機会を設けていく予定です。

問い合わせ先：和田中学校 ☎3383-2428



学校希望制度を実施します

来春小・中学校へ入学する新1年生を対象に学校希望制度を実施します。希望できる学校の範囲は、住所地の指定校に隣接する学校です。（希望申請期間9月7日～10月3日）

学校希望制度の詳細は、7月に学校等を通じてお配りする「学校希望制度のご案内」または広報（7/11号掲載予定）をご覧ください。

平成17年度新入学に際し学校希望申請をされた保護者の方を対象にアンケート調査を行いました。集計結果は区公式ホームページでご覧になれます。 問い合わせ先：学務課

教育委員会の動き

17年3月～17年5月

【教育委員会開催状況】

定例会	4回
臨時会	2回
議案	24件
報告事項	25件

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 平成17年度杉並区立学校の学期及び休業日について
- 杉並区立済美教育センター処務規則
- 学校運営協議会委員の任命について
- 平成17年度における特別支援教育の取組みについて
- 平成16年度杉並区小中学校学力等調査結果速報について
- 中学校教科用図書及び学校教育法第107条教科用図書の採択事務について
- 平成17年度中学校教科用図書調査事務日程について
- 学校希望制度に関する保護者アンケート結果（平成17年度新入学）
- 杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台（通学区域の変更）に関する第三者委員会の意見・提言について

〇へん知る 堀之内小学校「ロボキッズ」ロボカップ世界大会に出場決定！

7月13日～19日に大阪で行われる「ロボカップ2005世界大会」のジュニアダグズ部門に、堀之内小学校4年生4人のチーム「ロボキッズ」が出場します。ゴジラロボットの心の変化を、ロボットの動きと4人の子どもの息のあったダンスで表現し、優勝をめざします。活躍を期待しましょう。